

調査研究部会現地調査結果

(平成25年7月)

○日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録検討委員会調査研究部会による現地調査結果。
ただし、宇治市は市の既存調査結果を元にとりまとめている。

調査地区

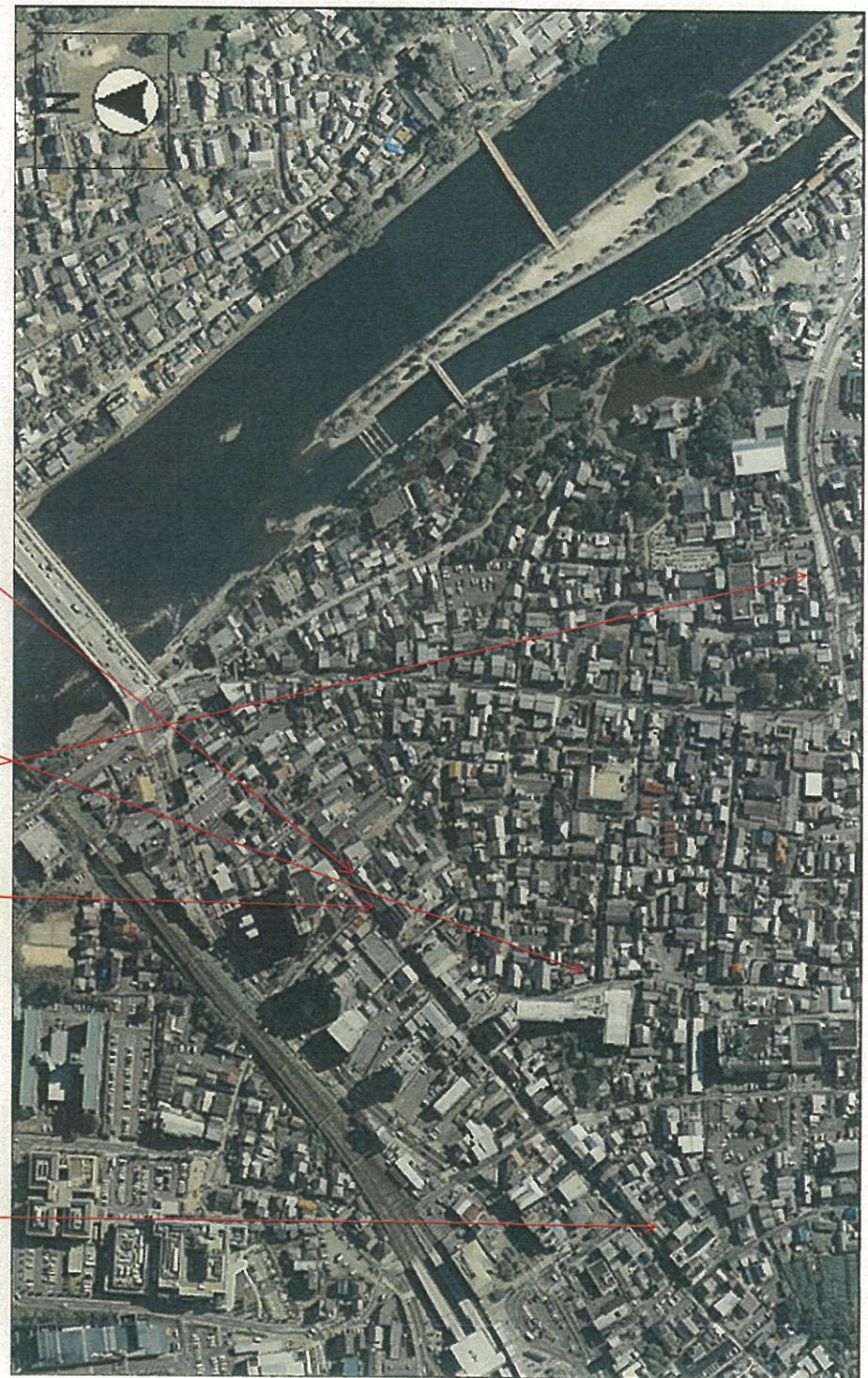
宇治市： 1 中宇治地区	和束町： 8 湯船地区
2 白川地区	9 原山地区
城陽市： 3 上津屋地区	10 釜塚地区
木津川市： 4 上狛地区	11 撰原地区
宇治田原町： 5 湯屋谷地区	12 石寺地区
6 奥山田地区	南山城村：13 童仙房地区
7 郷之口地区	14 高尾地区
	15 田山地区

01 宇治市中宇治地区

○江戸～戦後に至るまで幅広い時代に渡る家屋が残っている。町屋形式の家屋が伝統的家屋の大半を占める。

○茶業関連業種には、茶生産と荒茶製造を行う茶農家、てん茶及び抹茶製造と卸売りを営む旧茶師を含む茶問屋、製品の小売業及び茶を活かした飲食業がある。なお、三者は明確に区分けができない面もある。

■国選定重要文化的景観(H21.2選定)



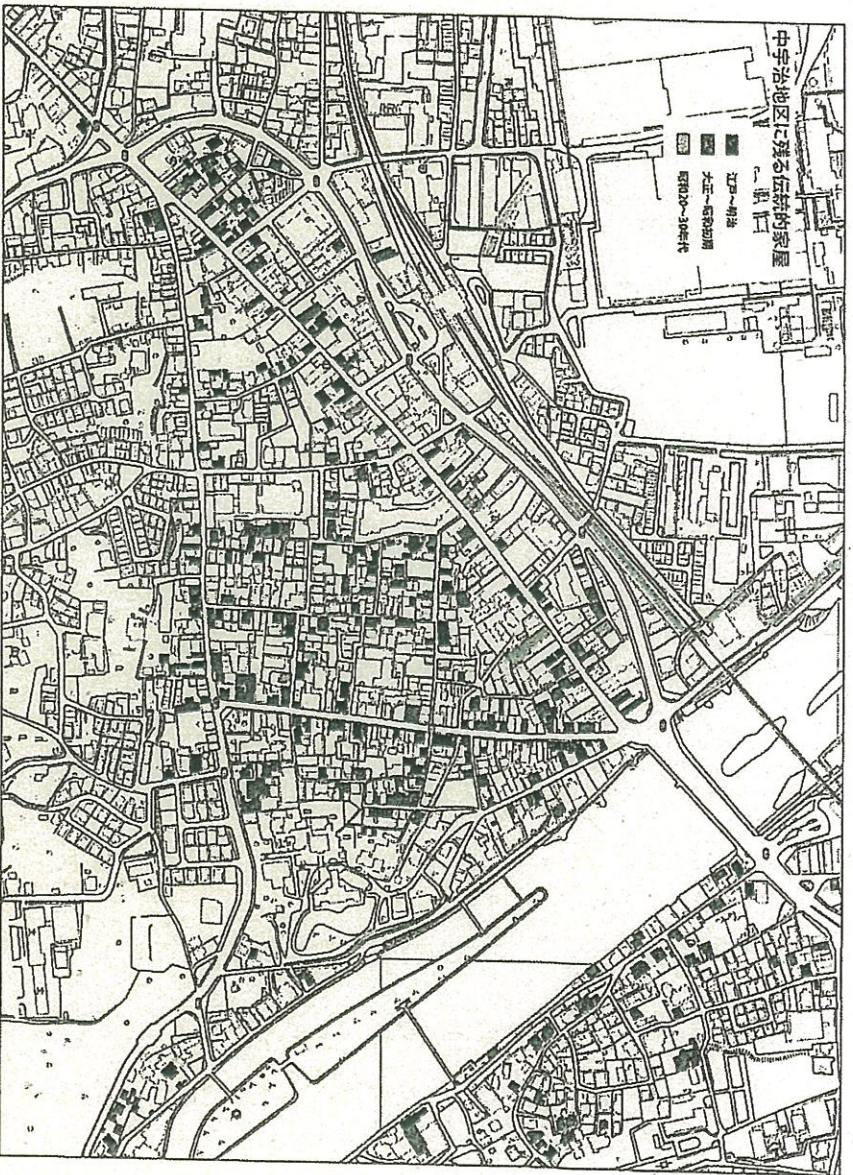


图4 中宇治地区に残る伝統的家屋

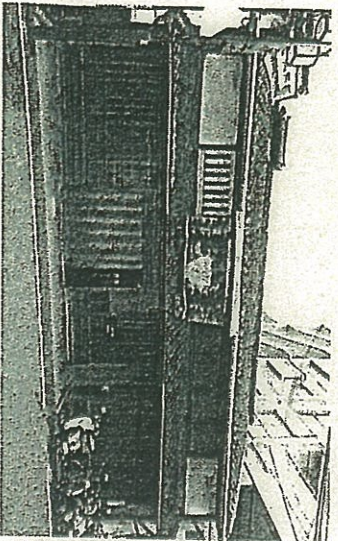


图5 町家A: 屋根が一連

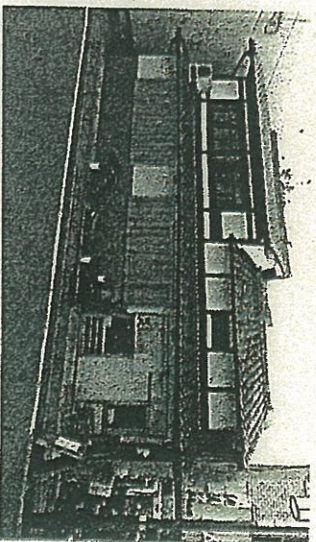


图6 町家B: 土間部屋根切り下げ

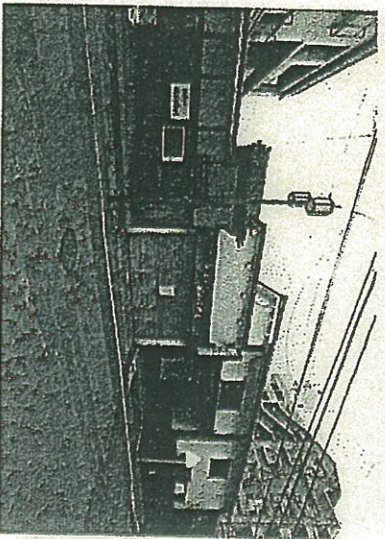


图7 屋敷型住宅

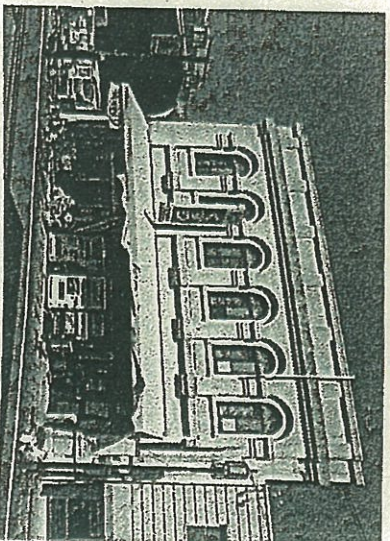


图8 旧百貨店

(宇治市文化財総合把握調査報告書Ⅰ)

02宇治市白川地区

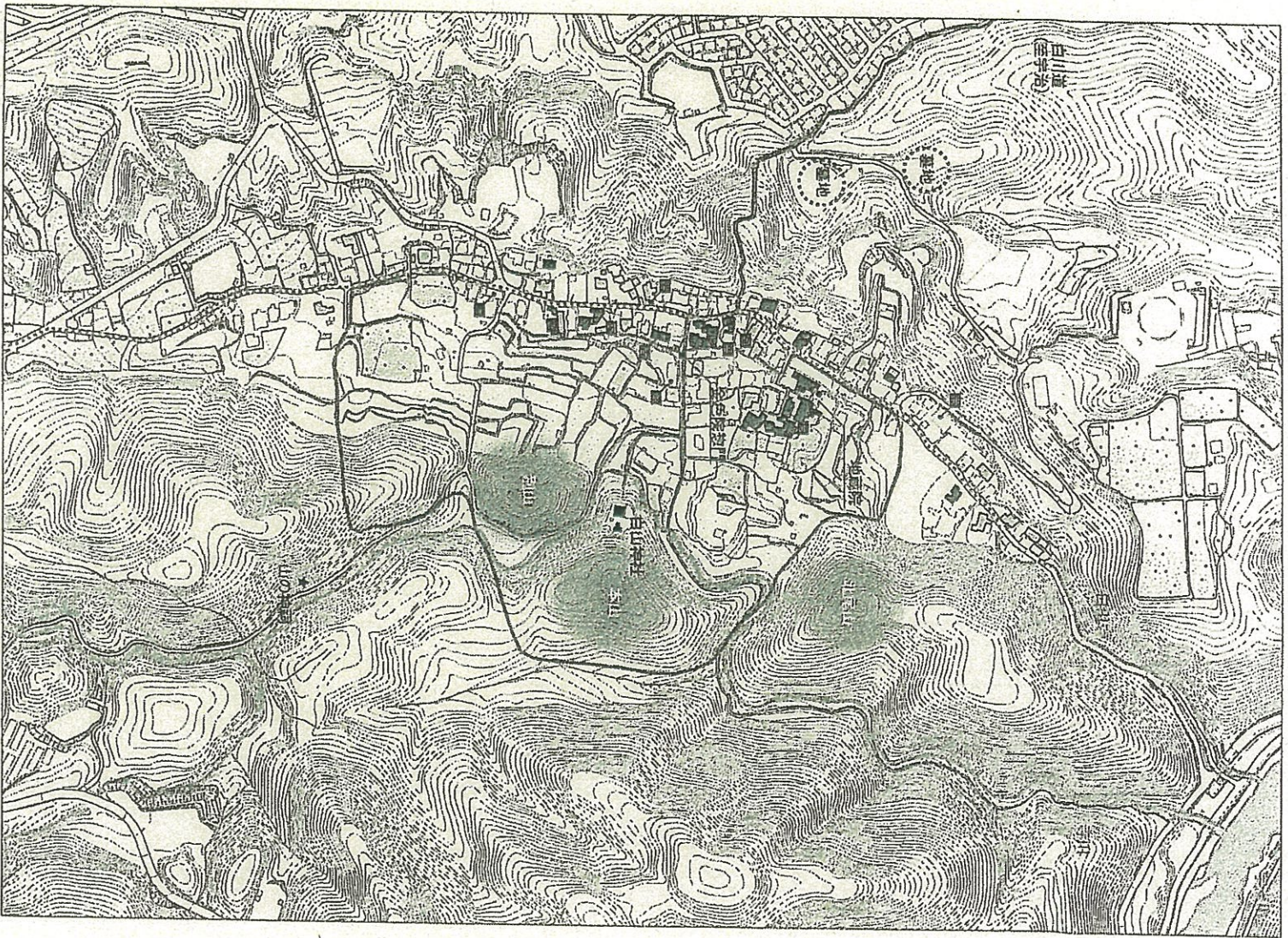
○茶園では、覆下茶園が多い。

○天明3年(1783)の主屋が一棟現存しており、農家建築の変遷を知る上で重要な家屋である。茶工場は各時代の工場が多様に存在している。

○集落内の茶工場は15件のうち4件は現在も稼働している。手揉み製茶を行っていた明治期から機会製茶に移行した大正期の茶工場が残っている。

■国選定重要文化的景観(H21.2選定、茶畑部分)。茶工場や蔵などの集落部分にも文化的な景観が形成されている。





0 50 100 200m

1) 白川金色院跡の範囲は「白川金色院跡発掘調査報告書1」(宇治市教育委員会, 2003) p.71「白川金色院跡想定寺域」を元に作成

凡例／建築年代	
■	鎌倉期～室町期
■	江戸期
■	明治期
■	大正～昭和戦前
■	昭和20～30年代
■	その他
○	白川金色院跡 ¹⁾
●	茶畑
■	茶工場

図 12 白川地区に残る伝統的の家屋と茶畑・茶工場

(宇治市文化財総合把握調査報告書I)

(宇治市文化財総合把握調査報告書Ⅰ)

第4節 伝統的家屋個別解説

二次詳細調査の対象家屋は、表に示すとおり、中宇治地区24件、白川地区6件の計30件である。以下に個別に解説する。

これらの家屋の他、中宇治の特徴をよく示す既調査家屋もある。宇治川東岸の宇治橋角に所在する通

園茶屋は『京都府の民家調査報告 南山城の民家調査報告』(京都府教育委員会、1969年)に、宇治橋通りの森川医院及び宇治川西岸の花やしき浮舟園については『京都府の近代和風建築—京都府近代和風建築総合調査報告書』(京都府教育委員会、2009年)に個別解説が掲載されている。

表2 中宇治地区伝統的家屋2次調査対象一覧表

番号	名称	建物名	建築類型	用途	年代	建築年代	規模	構造	構造形式	
									不明	階数
1	上村善松家	王屋	邸敷	住宅	大正15年	間取り	木造	和小屋	2	2
		長屋門		店舗	江戸中期	推定	木造	畳上げ	2	
		茶室松好庵		茶室	寛政11	墨書	木造	和小屋	1	
		主屋		住宅	明治中期・大正3年	百重葺・間取り	木造	和小屋	12	
2	中村藤吉本店	旧宿戸場(数家)		店舗	明治29年	間取り	木造	和小屋	1	
		旧茶工場		倉庫	大正年間	間取り	木造	和小屋	1	
		茶蔵		倉庫	明治43年	棟札	木造	不明	1	
		茶室松公庵		住宅	江戸時代建築 明治初期移築	間取り	木造	和小屋	1	
3	松阪屋嘉八本店	四重半茶室		住宅	大正3年	間取り	木造	和小屋	1	
		本店南棟		居住一体	明治後期～大正期	推定	木造	和小屋	2	
4	山本家住宅	茶室		居住一体	明治初期	推定	木造	和小屋	2	
		土蔵		倉庫	寛永元元建築 明治中期改築 江戸末補建築 明治期改築	両階筒瓦葺 2階檜巻柱	木造	畳上げ	2	
5	堀文製茶場	製茶工場		製茶工場	昭和39年	間取り	鉄骨造	トラス	1階 部2階	
		窯丸		居住一体	明治後期	間取り	木造	和小屋	2	
6	堀文製茶場茶工場	茶工場		茶工場	昭和30年頃	間取り	木造	和小屋	2	
		茶屋		住宅	昭和初期	間取り	木造	不明	2	
7	清水家住宅	茶工場		茶工場	昭和10年	間取り	木造	トラス	1	
		茶屋		住宅	明治14年	間取り	木造	畳上げ	2	
		主屋		住宅	大正元年	間取り	木造	和小屋	2	
		洋館		住宅	江戸後期	間取り	木造	和小屋	2	
8	古地家住宅	茶屋		茶屋	昭和初期	間取り	木造	不明	1	
		茶室		倉庫	明治初期	間取り	木造	畳上げ	2	
		茶室		倉庫	昭和初期	間取り	木造	和小屋	1	
		茶室		倉庫	昭和初期	間取り	木造	和小屋	2	
9	森井電機倉庫	風呂・便所棟		風呂・便所	明治初期	推定	木造	畳上げ	2	
		茶屋		倉庫	明治後期～大正期	推定	木造	不明	2	
10	京納府茶業会館所	茶屋		倉庫	明治初期	推定	木造	不明	2	
		主屋		公共建築 会館所	昭和9年移築	資料	木造	和小屋	2	
11	長谷川家住宅	主屋		居住一体	明治24年	間取り	木造	和小屋	2	
		主屋		居住一体	昭和7年	間取り	RC造 一部木造	隠居棟	2	
12	丸五薬品	主屋		居住一体	昭和10年	間取り	木造	不明	2	
		茶室		店舗	昭和10年	間取り	木造	不明	1	
13	有馬湯	茶室		店舗	昭和10年	間取り	木造	畳上げ	2	
		茶室		住宅	大正初期	間取り	木造	不明	2	
14	寶徳酒店	住居棟		住居	大正初期	間取り	木造	不明	2	
		倉庫		倉庫	戦後	間取り	木造	和小屋	1	
15	〇/〇	茶室		店舗	昭和20年代	間取り	木造	和小屋	2	
		茶室		店舗	昭和20年代	間取り	木造	和小屋	2	
16	喫茶えげこ、長谷川家住宅	喫茶えげこ		店舗	明治中期	推定	木造	和小屋	2	
		長谷川家住宅		住宅	大正末～昭和初期	推定	木造	和小屋	2	
17	(有)昇苑(みむも)	茶室		居住一体	昭和6年	間取り	木造	和小屋	2	
		隠れ		居住一体	昭和25～30年	間取り	木造	不明	1	
18	竹村家住宅	茶室		精米所	昭和初期	推定	木造	和小屋	2	
		主屋		住宅	大正3年	間取り	木造	和小屋	1	
19	北村家住宅	主屋		倉庫	昭和12年	間取り	木造	和小屋	2	
		土蔵		倉庫	大正10年建・ 昭和23年移築	間取り	木造	和小屋	2	
20	中村藤吉平等院店 旧菊屋萬登楼	納屋茶精丸		倉庫兼住宅	昭和5年	間取り	木造	和小屋	1	
		主屋		店舗	大正4年以前	間取り	木造	不明	2	
21	御菓子司能登楼福安茶	旧丸窓亭		倉庫	大正4年以前	古写真	木造	和小屋	1	
		茶室		倉庫	昭和初期	推定	木造	不明	1	
22	茶屋あじろ	主屋		店舗	明治29年	推定	木造	畳上げ	中2	
		主屋		店舗	昭和29年	推定	木造	和小屋	2	
23	塩見家住宅	茶室		住宅	明治初期	間取り	木造	和小屋	1	
		土蔵		倉庫	明治35年	間取り	木造	畳上げ	2	
24	中村家住宅	主屋		住宅	大正5年	間取り	木造	不明	2	
		土蔵		住宅	大正5年	間取り	木造	不明	2	

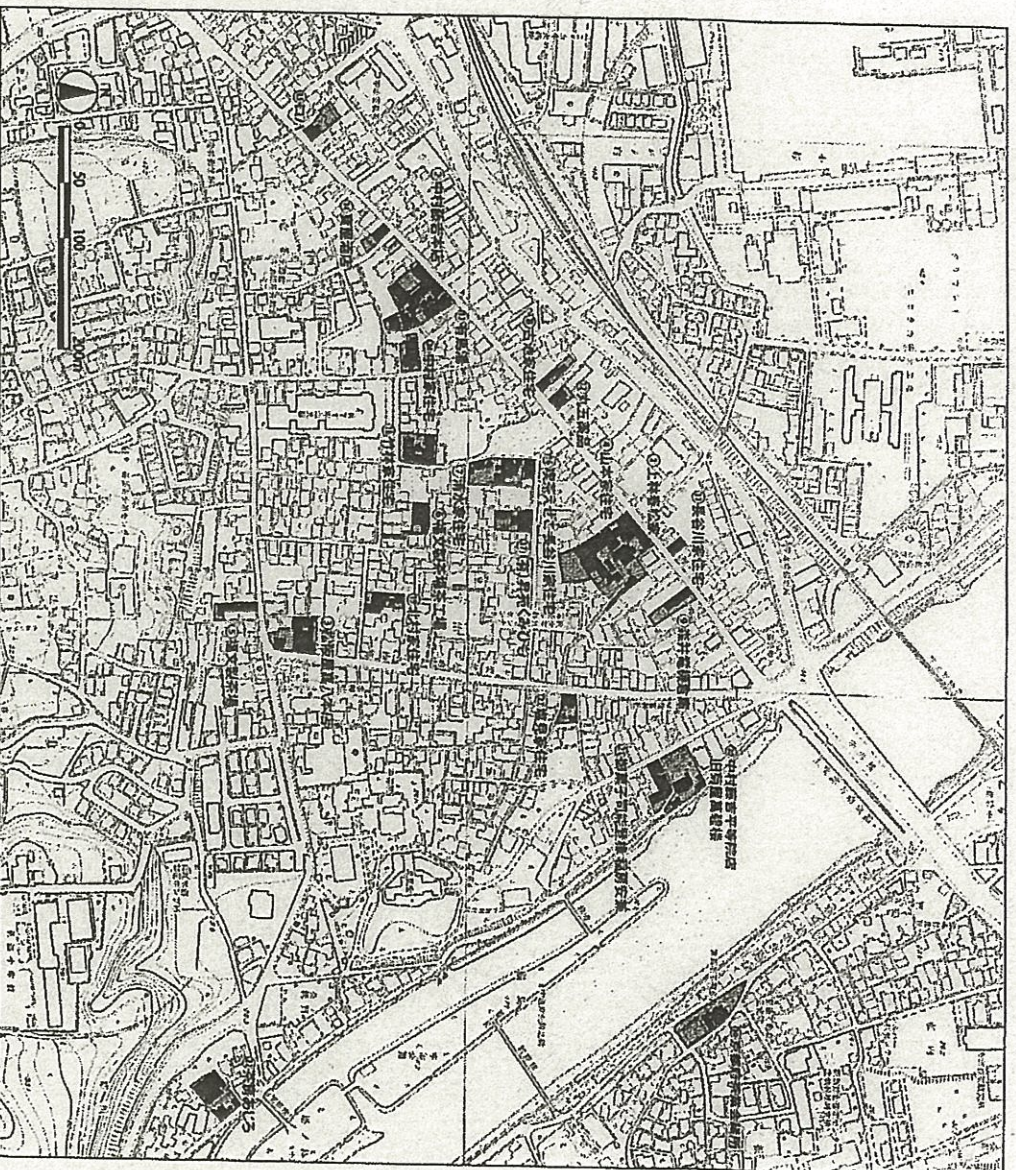


图 19 中宇治地区伝統的家屋 2 次調査対象位置図

表 3 白川地区伝統的家屋 2 次調査対象一覧表

番号	名称		建築年代	損壊	構造	構造形式
	現名称	建物名				
25	古川家住宅	主屋	天明3年	壊れ、資料	木造	夏番組 1
		風呂・便所棟	戦後	取り壊し	木造	和小屋 1
		主屋	明治23年	相の向屋組紀年	木造	和小屋 2
		旧製茶工場	明治5年	御幣	木造	壱り梁 1
		茶門	明治期	推定	木造	-
		土蔵	明治期	取り壊し	木造	-
		新製茶工場	昭和37年	推定	鉄骨造	1-5又 1
		茶園裏小屋北棟	昭和初期	推定	木造	和小屋 1
		茶園裏小屋南棟	昭和43年	取り壊し	木造	壱り梁 1
		主屋	昭和初期	取り壊し	木造	和小屋 2
26	藤村家住宅	主屋	明治25	取り壊し	木造	1-5又 1
		旧茶工場	明治期	御幣	木造	壱り梁 2
		旧茶工場	大正年間	推定	木造	夏番組 中2
		旧茶工場	昭和初期	推定	木造	和小屋 1
27	柴田家住宅	土蔵	大正9年	御幣	木造	壱り梁 1
		旧茶工場	大正年間	推定	木造	夏番組 中2
		田ノ口部屋	昭和初期	推定	木造	和小屋 1
28	山本家住宅	主屋	昭和39年	取り壊し	木造	和小屋 2
		旧茶工場	昭和初期	推定	木造	和小屋 1
1	旧白川共同製茶場	製茶工場	昭和初期~戦後	推察	木造	1-5又 1

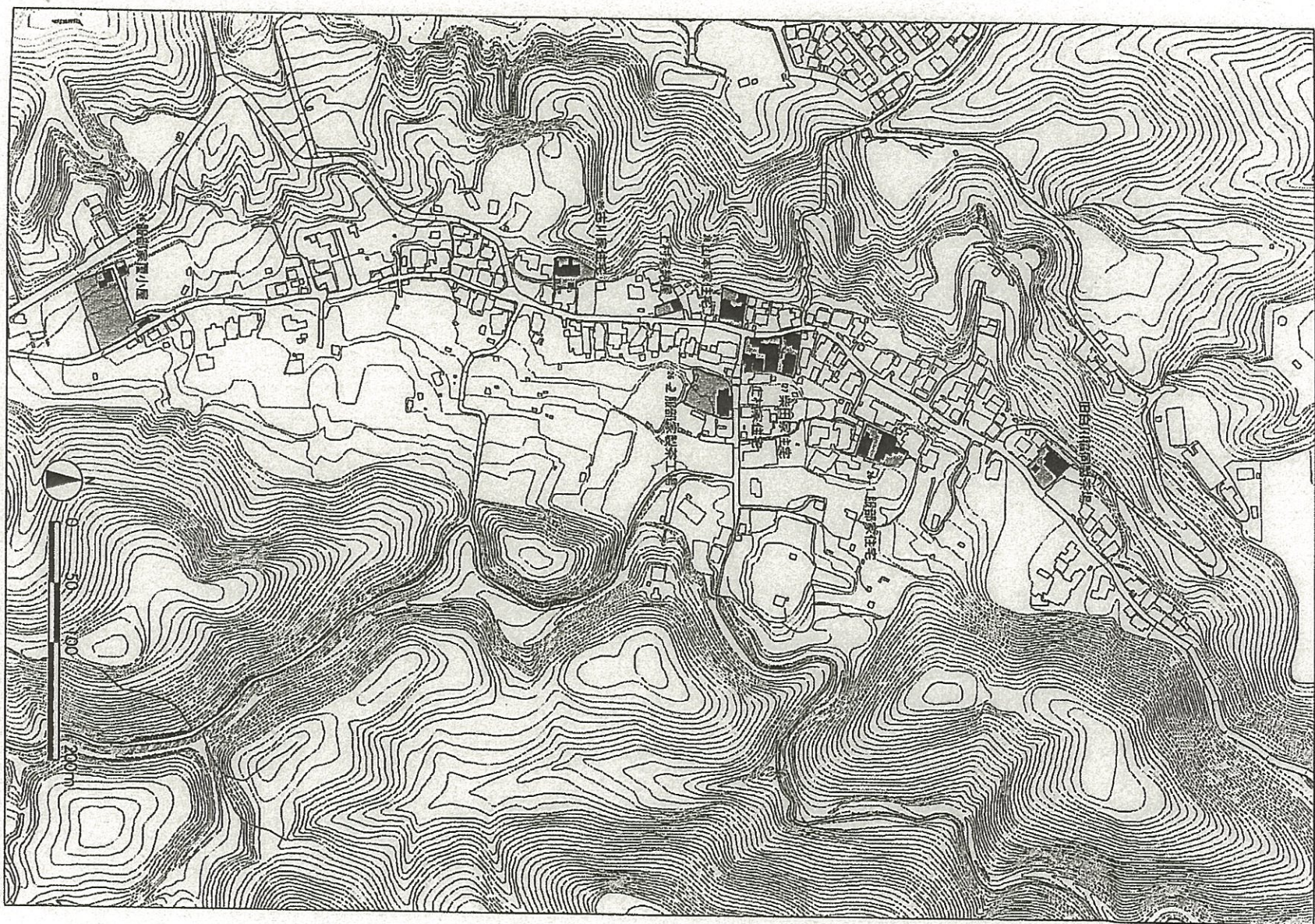


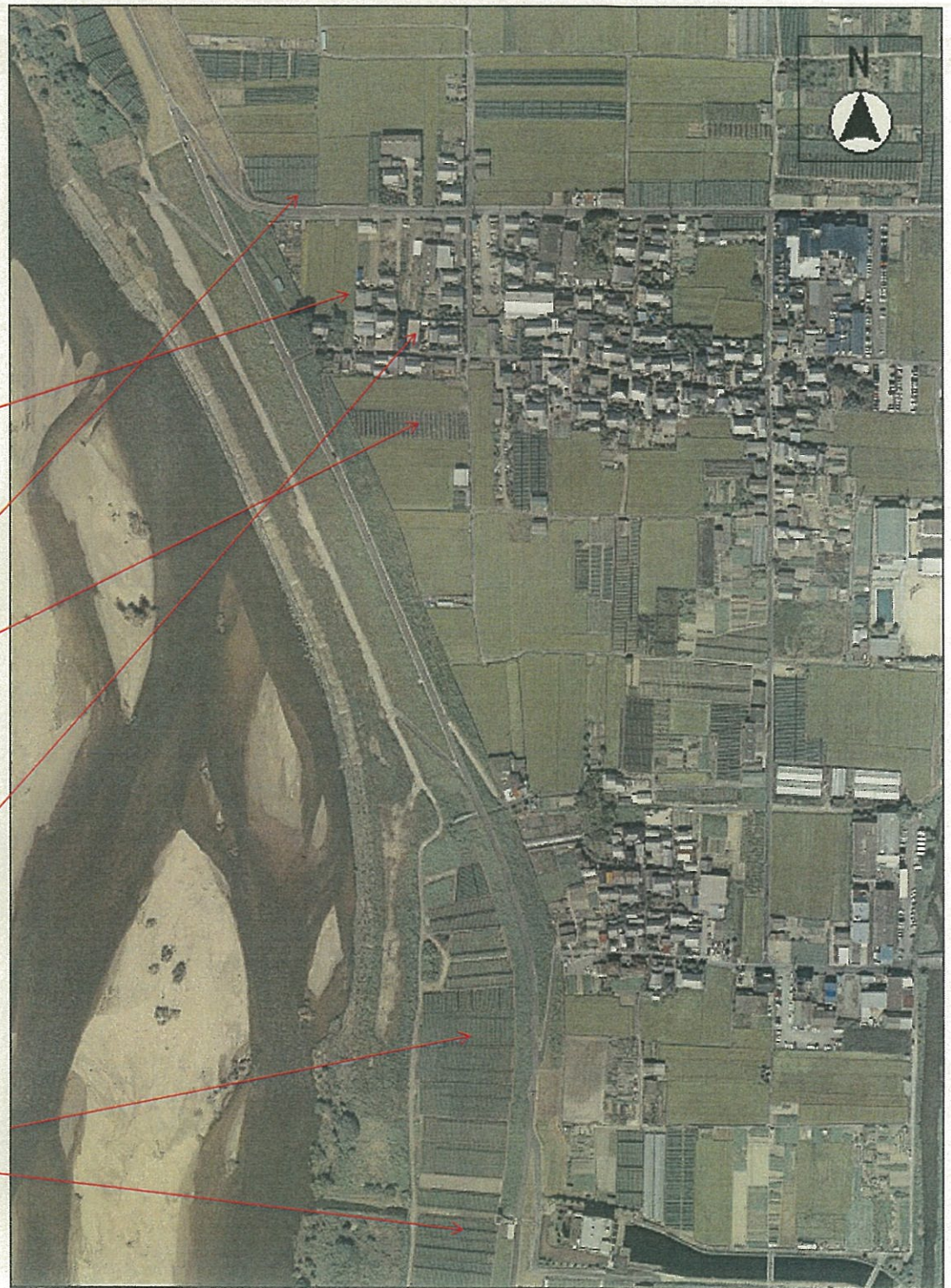
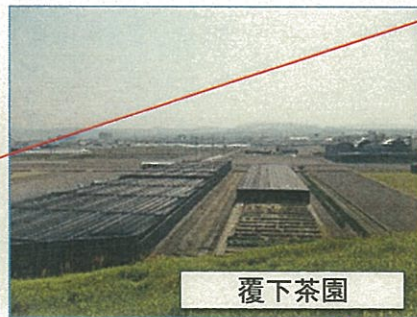
图 20 白川地区传统的民居 2 次调查对象位置图

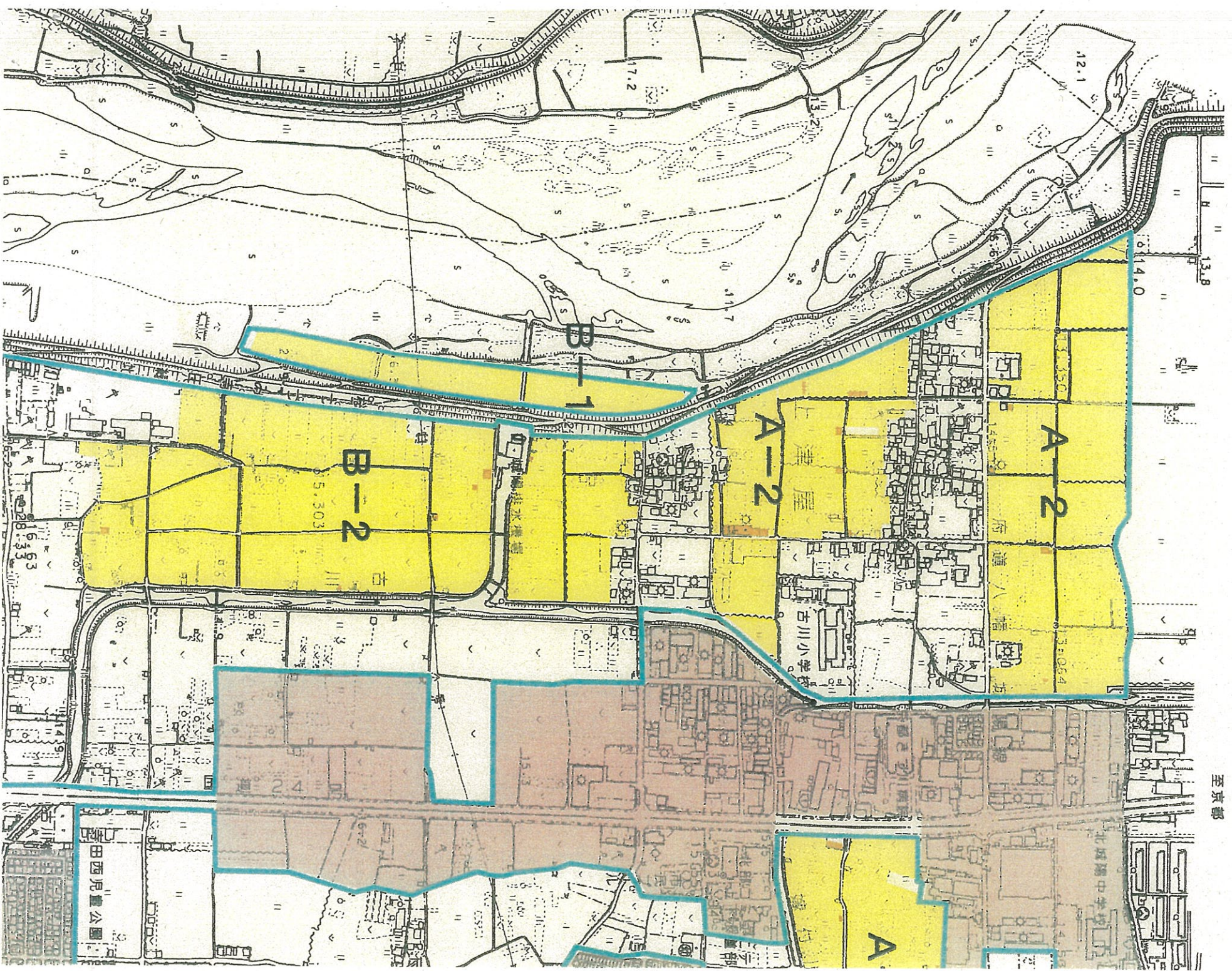
03城陽市上津屋地区

○木津川河川敷に覆下茶園が広がっており、古くから「浜茶」として知られている。

○本ず栽培も行われている。

■河川敷に広がる覆下茶園は独特の文化的な景観を形成している。





至京都